

林業再生と獣害対策

吾川林業協力隊・流域活性化センターによる川 森林救援隊
・BDFヤトロファ研究会

林業再生

材価低迷にどう対処しているのか。

作業道開設及び機械化でコスト削減
スギ・ヒノキからオオアブラギリへ

なぜ オオアブラギリなのか

アブラギリは非食用次世代バイオ燃料として自動車・航空機の混入燃料として使用（既に世界各国で実証済）

成長が早く、やせ地・干ばつ病虫害に耐える
植付け4～5年後から収穫できる

低収益の木材に代えて、果実の持続的収入を
果実は動物や虫が食べず、長期に収穫可能

森林の生態を守り、

クリーンな川や海に蘇生

樹木なので一旦植林すれば、手間いらず、
持続可能なエネルギー源に

脱石油でCO2削減

副産物も多種多様な用途に利用可能



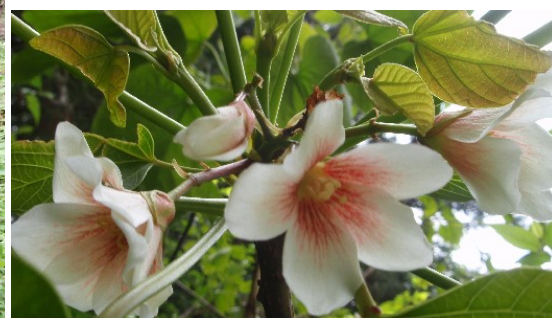
作業道開設



林内作業車



間伐林に下層木として植栽



オオアブラギリの花

獣害対策

農作物を猿・鹿・猪・狸・ハクビジンから守る、電気柵やネットなどはコスト面・維持管理面が大変、耕作放棄地増加の一因となっている。そこでもっと簡単に獣害回避策を求めて、ヤトロファの臭気が動物を寄せない特性を生かした実験で、有益性が確認されました、引き続き弱点解消研究中です。

写真説明

ヤトロファ

ヤトロファに守られた

トウモロコシ畑

昨年は20%被害

上部に隣接他人の

畑 獣害50%

● ヤトロファ配置場所

